

New Wave到来！

最新の白内障手術ワークフロー

4/11 Sat

11:50 ~ 12:50

マリンメッセB館 2F 会議室1

Room 11

座長



筑波大学

大鹿 哲郎 先生

演者



New Wave of 手術計画・顕微鏡：

IOLマスター700 + ARTEVO 850

後藤 聡 先生（大阪大学）

演者



New Wave of 手術装置：

EVA NEXUS

橋本 りゅう也 先生（東邦大学佐倉）

演者



New Wave of 眼内レンズ：

CT LUCIA 621P

大鹿 哲郎 先生（筑波大学）

【座長のことば】

白内障手術を取り巻くテクノロジーに、いままさにNew Waveが到来しています。

ZEISSといえば、ゴールドスタンダードであるIOLマスターや手術顕微鏡で知られてきましたが、そこに白内障・硝子体手術装置と眼内レンズが新たなラインナップとして加わりました。その結果、術前検査から術中操作、術後を見据えたレンズ選択まで、白内障手術ワークフローの多くをZEISS製品でシームレスに支えられる時代になりつつあります。

術前ではIOLマスター700が、検査の効率性と測定の正確性を高めてきました。術中ではARTEVO 850が、独自の照明による視認性向上に加え、デジタル技術を活用した手術支援により、術者の判断と操作を力強くサポートします。また、硝子体手術装置として知られるEVA NEXUSは、白内障手術においても優れたパフォーマンスを発揮し、手術環境の安定化に貢献します。さらに、ZEISSが日本で初めて承認を得た眼内レンズCT LUCIA 621Pは、海外で既に高い評価を得ている独自の設計と光学性能を備えています。

本セミナーでは、各分野のエキスパートである講師の先生方に、臨床現場におけるこれらのNew Waveの意義と可能性を、余すところなくご講演いただきます。白内障手術ワークフローの未来を切り開く、この大いなる波を、ぜひ皆さまと共に体感したいと思えます。